

兵庫県保険医協会尼崎支部 第88回医療と福祉を考える会

あなたの目と手で褥瘡予防 皮膚科往診医からのメッセージ

高齢社会に生きている我々にとって、今や褥瘡についての知識はなくてはならないものです。けれども現実にはまだまだ広く行きわたってはいないようです。少しの工夫で防げたと思われる褥瘡が悪化してつい入院というようなケースを経験するたびに、予防についての取組みをもっと強化しなければと考えさせられます。

まず介護者とそのまわりの人々、つまり介護サービスの提供者すべてがいつもよく五感を働かせて観察し、ほんの少し手をかけるだけで褥瘡を防ぐことができ、また運悪く褥瘡ができてしまったとしても、悪化することなく早く改善させることができる方法を知っていただければ「褥瘡ゼロ社会」も夢ではないでしょう。

だれもが「とこずれ予備軍」になりかねないことを念頭において今からできることをすぐにやっていきましょう。今回ご紹介するいくつかの事例がそのきっかけになれば幸いです。

(皮膚科 美川医院 増田 理恵)

「医療と福祉を考える会」は医療、看護、介護に関わる方々に職種を超えてお集まりいただき、ざっくばらんに話しあい、学習する場として開催しています。お気軽にご参加ください。

(担当・わたや整形外科 綿谷 茂樹)

日時 9月12日(木) 18時30分～20時30分

会場 尼崎市中小企業センター 501号室

TEL: 06-6488-9501 (阪神尼崎駅より徒歩5分)

講師 皮膚科 美川医院 増田 理恵 先生

参加費 無料

お問い合わせは 協会事務局 長澤・荒川・石本・山下 TEL078-393-1817 まで

【お申し込み】 FAX: 078-393-1802

第88回医療と福祉を考える会(9/12)

参加者ご氏名	職種

医療機関・事業所名 ()

代表者名 () TEL ()

兵庫県保険医協会 尼崎支部ニュース

347号

2013年8月25日付

〒660-0055 尼崎市稲葉元町2-11-10 八木クリニック内
兵庫県保険医協会尼崎支部 TEL06-6417-6600 FAX06-6417-6011

金楽寺住宅健康教室

腰痛のしくみと予防



身振りも交えながら解説する大塚先生

8月19日、金楽寺復興住宅で大塚誠治先生(塚口・大塚整形外科)を講師に健康教室を開催した。今回のテーマは「腰痛について」。

大塚先生はまず、腰痛が起こる原因について解説。人体の構造上、腰に負担がかかりやすく、座っていても前かがみと同じぐらいの負担がかかっていることなどを示すと参加者からは驚きの声が漏れた。

薬を飲んだり注射をしても痛みがひかないときにはがンを疑う場合もあり注意すること、赤い尿が

出たり、やせたりする場合には受診するよう呼びかけた。

腰痛の対策として、腹筋を鍛えることや、体操で体を動かす場合にもはずみをつけず行うこと、反ったり曲げたりしすぎないこと、物を拾う際には前かがみではなくしゃがんだ姿勢で拾うこと、寝具は柔らかすぎるとお尻が沈むため、腰からお尻が丸くなるような形のものを利用することなどをアドバイスした。

腰痛の原因となる代表的な疾患も紹介。腰部脊柱管狭窄症では、間欠性跛行が見られるため、歩く際に700～800mごとに休憩が必要な場合には受診する必要があるという目安も示した。

骨粗鬆症については、女性はホルモン、男性は薬などの影響も受けることから、60歳を過ぎたころには骨塩定量検査をする必要性も解説した。

骨を丈夫にするためには刺激を与える必要があるため、開眼片足立ちを左右1分ずつ1日3回行うことで刺激を加える方法もアドバイスした。

第42回支部総会ジェネリックアンケート特集

総会記念企画で実施したアンケート結果(抜粋)をお伝えする。

全結果をご希望の方は協会事務局(TEL 078-393-1805)までご連絡ください。

回答数 97 通

■基礎調査

先生の診療形態は

A. 無床診療所	89	91.8%
B. 有床診療所	6	6.2%
C. 病院	2	2.1%

先生の開業歴は

A. 4年以下	3	3.1%
B. 5～9年	21	21.6%
C. 10～19年	26	26.8%
D. 20年以上	42	43.3%
E. 勤務医	4	4.1%

■医薬分業等

医薬分業をしていますか

A. している	42	43.3%
B. 一部している	20	20.6%
C. していない	32	33.0%

医薬分業を「していない」方に今後の方針をお尋ねします

A. 分業に切り替える予定		
B. 環境が変われば分業したい	9	9.3%
C. 検討中	3	3.1%
D. 今後も分業しない	24	24.7%
E. その他		

現在の先発品の薬価に対する印象は

A. 高い	55	56.7%
B. 妥当	36	37.1%
C. 低い	1	1.0%

■後発品

現在後発品医薬品をお使いですか

A. ほとんど、または全く使用(処方)していない	10	10.3%
B. 先発品が主体だが、後発品も使用(処方)している	49	50.5%
C. 先発品と後発品をほぼ同等に使用(処方)している	19	19.6%
D. 後発品を主体に使用(処方)している	14	14.4%

○後発品を使用(処方)している方にお尋ねします

その理由は(複数回答可)

A. 患者の薬剤負担が軽減される	66	68.0%
B. 患者さんから要望があった	45	46.4%
C. 日本の医療費を抑えたい	32	33.0%
D. 薬効が先発品と同等と思う	18	18.6%
E. メーカー品は薬価差がなくなったから	9	9.3%
F. 安全で信頼できるから	6	6.2%
G. その他	5	5.2%

ご自身のご家族にも使用(処方)していますか

A. している	49	50.5%
B. していない	33	34.0%

実際に後発品を使用した感触について(複数回答可)

A. 有効性について先発品に比べて劣っているものがある	39	40.2%
B. なんとなく心理的不安がぬぐいきれない	31	32.0%
C. 製剤としては先発品と同じと思うが、その他の面では不満もある	27	27.8%
D. 先発品と変わらない	17	17.5%
E. 先発品に比べ副作用の頻度の高いものがある	14	14.4%

どのような領域で後発品を使用していますか(複数回答可)

A. 消化器用剤	52	53.6%
B. 解熱鎮痛剤	45	46.4%
C. 抗アレルギー剤	36	37.1%
D. 抗生剤、抗菌剤	40	41.2%
E. 循環器用剤	37	38.1%
F. 鎮咳・去痰剤	35	36.1%
G. 催眠鎮痛剤・抗不安剤	26	26.8%
H. 糖尿病用剤	19	19.6%
I. その他	10	10.3%

過去5年間に先発品と比較して薬効が異なる経験をしましたか

A. ある	43	44.3%
B. ない	43	44.3%

過去5年間に先発品と比較して副作用の頻度が高い経験をしましたか

A. ある	19	19.6%
B. ない	65	67.0%

薬効や副作用の他に後発品に対する不満は(複数回答可)

A. 情報提供	55	56.7%
B. 薬の名前	32	33.0%
C. MRの訪問が不十分	32	33.0%
D. 供給体制	23	23.7%
E. 研究会の開催が不十分	17	17.5%
F. 包装や色、外観等の商品性	7	7.2%
G. 味	7	7.2%
H. その他	6	6.2%

○後発品をほとんど、または全く使用(処方)していない方にお尋ねします

使用(処方)していない理由は(複数回答可)

A. 薬効に信頼がもてない	14	14.4%
B. 副作用の発現、安全性に対する危惧がある	12	12.4%
C. 先発品を使用していて不自由がないから	10	10.3%
D. 名前に違和感がある、名前を覚えられないから	7	7.2%
E. 使用したことがなく、よく分からない	5	5.2%
F. 院外処方だから	2	2.1%
G. 患者に不安を与えるから	4	4.1%
H. なんとなく抵抗がある	6	6.2%
I. 面倒だから	2	2.1%
J. その他	4	4.1%

今後使用しますか

A. 使用する予定	14	14.4%
B. 検討する予定	9	9.3%
C. 今後も使用しない	11	11.3%

■後発品の今後について

後発品の今後についてどうなるとお思いますか(複数回答可)

A. ますます導入が促進される	57	58.8%
B. 淘汰されていく	29	29.9%
C. わからない	15	15.5%
D. その他	2	2.1%

第475回幹事会だより

7月19日(金) 於 阪急塚口「竹葉」 参加:7人

- 尼崎支部の会員数と組織率
7/18 現在 医科 382 人、歯科 142 人
- 医療をめぐる情勢と運動対策
支部総会、当面の支部活動、情勢などについて意見交換した。
- 当面の支部活動
8/19 金楽寺住宅健康教室、8/31 納涼会員懇談会、9/12 医療と福祉を考える会
- 次回の幹事会
次回は8月31日阪急梅田「阪急トップビアガーデン」で開催。

お問い合わせはTEL 078-393-1805 長澤まで